

岩手県が発行する グリーン/ブルーボンドのご案内

年限

5年

発行額

50億円

各公債の金額

1,000万円

対象

法人向け

条件決定日

2023年（令和5年）

7月予定

「岩手県グリーン/ブルーボンド」の概要

年限	5年（満期一括償還）
発行額	50億円
条件決定日	2023年（令和5年）7月予定
引受会社	みずほ証券株式会社（事務）／野村証券株式会社／大和証券株式会社
適合性評価	本債券の発行に際し、資金用途などを明記した発行の枠組み（グリーン/ブルーボンド・フレームワーク）を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所(JCR)より、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版等への適合性について、最上位である「Green1(F)」及び「Blue1(F)」の評価を受けています。
債券の種類	市場公募債（機関投資家向け）
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本県ウェブサイト上で投資家名をご紹介します。

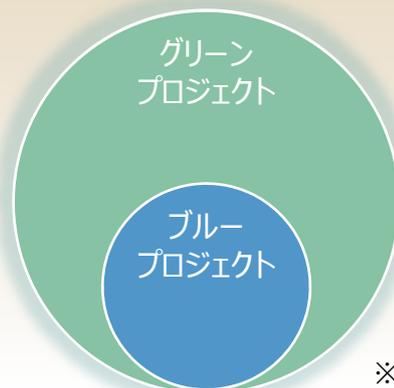
「グリーン/ブルーボンド」とは？

地球温暖化など環境的課題解決に貢献する取り組みを「グリーンプロジェクト」と言います。

また、「グリーンプロジェクト」のうち、海洋資源・生態系の保護等に資する取り組みが「ブループロジェクト」です。

こうした「グリーン/ブループロジェクト」に必要な資金を調達するために発行される債券を「グリーン/ブルーボンド」と言います。

このたび、岩手県は本邦地方公共団体で初となる、ブループロジェクトを資金用途に含めた「グリーン/ブルーボンド・フレームワーク」を策定しました。



※イメージ

発行の背景

森・川・海の豊かな自然が存在する本県の環境保全の取り組みでは、森林、河川、海岸等における多様な自然環境を、人の活動と調和を図りながら体系的に保全することが不可欠です。

こうした背景から、気候変動の緩和または適応に資するグリーンプロジェクトのみならず、海洋資源・生態系の保全等に資するブループロジェクトも資金使途に含めた、グリーン/ブルーボンド・フレームワークを、地方公共団体としては初めて策定しました。

このたびのグリーン/ブルーボンド発行による資金調達により、県内におけるGX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進による地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長を目指す取り組みを実施するとともに、東日本大震災津波で被災した三陸海岸における海洋と沿岸の保全強化等に資する事業を推進していきたいと考えております。



©わんこきょうだい

岩手県グリーン/ブルーボンドのフレームワーク概要

グリーンボンド原則 事業区分	グリーン適格プロジェクト
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 太陽光発電関連設備の導入
エネルギー効率	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県有施設における <ul style="list-style-type: none"> ● 高効率空調設備の導入 ● 高効率照明の導入 ● その他高効率設備（ポンプ機・キュービクル等）の導入 ■ 信号機のLED化
汚染防止及び抑制	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県境不法投棄現場環境再生事業 ■ 大気汚染監視設備整備事業
生物自然資源及び土地利用に係る環境 維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国定公園・自然公園等施設整備事業
グリーン輸送	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の購入 ■ 充電設備等の導入
気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> ■ 河川改修事業 ■ 道路環境改善事業（無電柱化・排水性、透水性舗装への改良） ■ 砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業
グリーンボンド原則 事業区分	ブルー適格プロジェクト
汚染防止及び抑制	<ul style="list-style-type: none"> ■ 流域下水道事業 ■ 漁業集落における排水施設の整備
生物自然資源及び土地利用に係る環境 維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 藻場整備 ■ 漁場内のガレキ撤去 ■ 高度衛生管理に対応した漁港施設の整備 ■ 水産高校実習船の整備 ■ 水産技術研究施設の設備整備・修繕 ■ 林道の開設・改良 ■ 水源涵養のため、荒廃森林を整備
生物自然資源及び土地利用に係る環境 維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防波堤、護岸等の整備
気候変動への適応	

充当予定事業の具体的事例（一部）

信号機のLED化



良好な道路交通環境の維持に向け、長寿命化による維持管理・更新を計画的に進めるとともに、交通安全施設の省エネルギー化を図ります

(写真：LED式の信号機)

国定公園・自然公園等施設整備事業



県内に所在する国定公園・自然公園等施設について、公園利用者に係る安全性の確保や公園の適正利用及び環境保護を図るため、整備を行います

(写真：早池峰山 小田越5合目付近)

河川改修事業



県内に所在する河川について、環境に配慮した改修・改良、整備を行います

改修の実施により、水害・土砂災害等自然災害発生時の被害リスクを軽減します

(写真：岩崎川)

砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業



土石流対策として堰堤工事、溪流保全工事をします

また、擁壁工事、法枠工事等斜面崩壊防止対策にも取り組み、自然災害に備えます

(写真：砂防えん堤)

高度衛生管理に対応した漁港施設の整備



魚市場を有する漁港において、高度衛生管理に対応した漁港施設等を整備します

流通拠点漁港の高度衛生管理に取り組むことにより、水産物の安全性の向上及び安定供給に貢献します

(写真：魚市場関連の道路・駐車場)

水産高校実習船の整備



水産実習に使用する新型の共同実習船を建造します

水産業の将来を担う人材を育成し、水産資源の持続的な生産、保全に貢献します

(写真：現行の実習船)

防波堤、護岸等の整備



県内に所在する漁港において、防波堤、護岸等の整備・改良を行います

高波から漁船等を防護することにより、持続的な漁業生産及び高波による被害防止に貢献します

(写真：高波対策の防波堤)

藻場の整備



水産動植物の生息場となる藻場などの漁場を整備します

漁場における水域環境の改善と生産力の回復による水産資源の増大などに貢献します

(写真：藻場造成)

「岩手県グリーン/ブルーボンド・フレームワーク」について

- 岩手県グリーン/ブルーボンド・フレームワークでは、グリーン/ブルーボンドの充当事業の詳細、資金管理方法、レポート項目等について定めています
- 本フレームワークに基づき調達された資金は、環境改善効果が見込まれる事業に充当され、その事業の効果を投資家に適切に情報公開いたします
- フレームワーク及び第三者評価については、本県ウェブサイトにて公開しています

岩手県グリーン/ブルーボンド発行の情報

URL : <https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/1059090/index.html>



お問い合わせ先

みずほ証券株式会社

盛岡支店

(電話) 019-624-5421

野村證券株式会社

盛岡支店

(電話) 019-653-5000

大和証券株式会社

盛岡支店

(電話) 019-652-1171

その他市場公募債に関するお問い合わせ先

岩手県

電話

019-629-5094

E-mail

AH0003@pref.iwate.jp